

野々村戒（二） （三） 西洋史學者、能樂史家。明治十年九月七日大分縣速見郡科樂生れ、昭和四十八年十一月二十一日没（八七—一九七三）。號芥叟、蘆舟。明治二十四年東京帝國大學文科大學史學科卒。第二高等學校教授、關西學院文學部長、早稲田大學教授、早稲田第一高等學院院長、相模女子大學教授等擔任、昭和二十四年と教大學文學部教授兼史學科長、翌年文化財保護委員會専門委員。キリスト教信者、その教史を中心とした西洋史を専攻。また能樂史を研究し、その資料の發掘紹介に努めた。

著書 『十九世紀反動時代』（明治二十五年十一月十一日民友社）、『十  
九世紀佛蘭西第一帝政』（明治三十六年九月十五日民友社）、『基督教  
史の研究』（大正九年七月十日聖醒社書店）、『校註世阿彌十部集』  
（大正十五年十一月二十一日春陽堂）、『能樂古今記』（昭和八年十  
一月十八日春陽堂）、編註『金春十七部集』（昭和七年六月一日春陽  
堂）、『能樂史話』（昭和十九年十一月十日春秋社松栢館「春秋社能樂  
叢書」）、『能の今昔』（昭和四十二年八月十日木耳社）等。

